

資料1

令和6年度 聴覚障がい児支援中核機能事業 の実施計画について



神奈川県障害福祉課

聴覚障がい児支援中核機能事業の構成

- 1 聴覚障害児に対応する協議会の設置
- 2 聴覚障害児支援の関係機関との連携
- 3 家族支援の実施
- 4 巡回支援の実施
- 5 聴覚障害児の支援方法に係る研修の実施



1 聴覚障害児に対する協議会の設置

聴覚障がい児及びその家族に対し、早期から必要な支援を切れ目なく提供できるよう、各分野の関係機関等が連携した支援体制を整備し、早期支援を推進するため、「神奈川県聴覚障がい児早期支援体制整備推進協議会」を設置している。

2 聴覚障害児支援の関係機関との連携

医療・保健と切れ目なく連携しつつ、既存機関との連携を強化し、聴覚障害児の乳児からの対応を強化する。

- (1) 市町村
- (2) 医療機関
- (3) ろう学校

(1) 市町村

療育担当部署に連絡をして、中核機能が設置されたこと、家族教室等の事業の紹介などを行う。

また、課題等について情報共有し、連携を深める。

[訪問先]

4月 逗子市、鎌倉市、小田原市

5月 三浦市、厚木市、山北町含む9市4町

6月 藤沢市、秦野市、清川村含む4市3町1村

(2) 医療機関

子どもの診断や支援に関わってる県内の代表的な病院へ訪問し、中核機能の設置、家族教室等の事業の紹介を行い、連携を深める。

【訪問先】

4月 小田原市立病院

5月 県立こども医療センター、東海大学医学部付属病院

(3) ろう学校

中核機能の設置、家族教室等の事業の紹介を行う。また、対応した事例について情報共有し、連携を深める。

[訪問先]

5月 横須賀市立ろう学校
県立相模原中央支援学校

3 家族支援の実施

保護者に対する相談、補聴器等の情報提供、
家族教室による支援を行う。

(1) 相談支援

(2) 家族教室

(1) 相談支援

聴覚障がい児の家族を対象とした日常生活等や療育の相談、補聴器に関する情報提供をするとともに、他の支援機関への繋ぎ等を行っている。

【月別相談件数】

	4月	5月	6月
延べ	55件	34件	38件



(2) 家族教室

聴覚障がい児や家族同士が交流する場として家族教室を開催している。

今年度は毎月、2回、実施する。

- 家族教室を実施した後に、個々の家族の相談に対応するため、個別相談の時間を設ける。
- 同じ悩みを持つ、保護者同士気軽に話せるよう、「おしゃべり広場」を開催する。

※手話を知りたい保護者に「しゅわまる」を紹介している。

(2) 家族教室

【開催状況】

- 第1回 4月23日(火)11:00~12:00 おしゃべり広場
会場:小田原市民交流センターUMECO 2家族5名参加
- 第2回 4月23日(火)13:00~14:30 テーマ:先輩ママの体験談
会場:聴覚障害者福祉センター 5家族11名参加
- 第3回 5月11日(土)12:00~14:30
テーマ:成人難聴者・ろう者に聞こう!こどもの頃の話・今の話
会場:横須賀市総合福祉会館 2家族5名参加
- 第4回 5月18日(土)10:00~15:00 おしゃべり広場
会場:聴覚障害者福祉センター 7家族21人参加

家族教室参加者の声

- 手遊び、本読みは、緊張しながらも子どもが楽しそうに遊んでいてうれしかった。
- デフスポーツで活躍されている方のとても貴重な体験談を聞くことができて良かった。
- 自由に出入り出来て、普段はあまり会えない、たくさんのご家族とお話ができ良かった(おしゃべり広場)。
- 同じ悩みをもった方と交流する機会がなかなかないので、このような場は大変貴重です(おしゃべり広場)。

4 巡回相談の実施

保育所、幼稚園等を巡回し、職員に対して支援を行う。

- 保育所等からの要望で巡回相談を実施し、聴覚障がい児支援のコミュニケーション支援や保護者の気持ちの受け止めなどについて必要な相談支援を行う。

保育所、幼稚園

[訪問実績]

5月 保育所(藤沢市)

児童発達支援センター6施設

6月 保育所(藤沢市、大和市、寒川町)

児童発達支援センター等8施設

(支援内容)

- ・ 人工内耳について、外したら子どもは聞こえない。水遊びの際には、高価なものなので、母親と相談した方がよい。
- ・ 難聴疑似体験を実施。絵本読み聞かせでは園児がどのような状態で読んでいるか分かった。



5 聴覚障害児の支援方法に係る研修の実施

乳幼児が通う施設（保育所、幼稚園等）の職員を対象として、聴覚障がい乳幼児の早期発見・療育の必要性、接し方等に関する研修会を実施する。今年度は5回実施する。

- 難聴児が在籍する施設からの受講者の割合が増加していることから、難聴児が在籍する職員向けの研修会も実施する（8月実施予定）。

5 聴覚障害児の支援方法に係る研修の実施

●第1回:6月26日 13:30~15:00 参集・オンライン併用

会場:聴覚障害者福祉センター

講演「聴覚障がいの基礎知識」

講師:渡邊 恵氏(言語聴覚士 東京都立大塚ろう学校早期相談指導員)

定員:20名

参加者:37名(参集4名・オンライン33名)

(受講者の声)

- ・聴覚障がいの種類や補聴器の仕組みについて知ることができ良かった。
- ・聴覚障がいの子供に対してどのように対応すればよいのか、勉強になった。
- ・質疑応答

「人工内耳の子供の話し方を真似する子供に対してどのように対応するか」

→ 聞こえの練習中であること、補聴器等はこの子にとり大事な物であることを周囲の子にわかりやすく説明してほしい。

5 聴覚障害児の支援方法に係る研修の実施

●第2回:8月7日 13:30~15:00 参集

会場:聴覚障害者福祉センター

講演「きこえない・きこえにくい子が安心して過ごせるように」

講師:菅原 仙子氏

(言語聴覚士 東京都立大塚ろう学校早期相談指導員)

定員:20名